

塩竈市子ども・子育て会議（平成28年度第2回）議事概要 報告書

1. 会議名	塩竈市子ども・子育て会議（平成28年度第2回）
2. 日時	平成28年10月19日（水） 18:30 ～ 21:00
3. 場所	塩竈市市民交流センター会議室（壱番館5階）
4. 出席者	<子ども・子育て会議委員> 11名 <塩竈市> 7名 健康福祉部長、子育て支援課長、子育て支援課職員4名 教育部学校教育課職員1名

<議事概要>

開会前に、佐々木委員が委員を退任されたことを報告。

1. 開 会 司会（子育て支援課長）
2. 挨拶 部長から
3. 議 事 議事前に資料確認後議事

（1）報告事項

①海岸通地区における子育て支援施設整備事業について

- ・資料1「海岸通地区における子育て支援施設整備事業について」を利用し、現況を報告

②塩竈市藤倉児童館及び放課後児童クラブの指定管理について

- ・資料2「塩竈市藤倉児童館及び塩竈市児童クラブ指定管理者募集の概要」を利用し、募集内容を報告

③児童福祉法等の改正の概要（児童虐待対応の強化）

- ・資料3「児童福祉法等の一部改正の概要」を利用し、制度の概要を説明

④平成28年度下半期スケジュール

- ・資料4「平成28年度下半期スケジュール」を利用し、予定を説明

（2）協議事項

①地方創生推進交付金について

- ・資料5「地方創生推進交付金（（仮称）塩竈アフタースクール事業）について」を利用し、事業概要を説明。時間の都合上、事業の説明のみとなったため、事業内容及び今後予定の保護者アンケートについての意見を後日、紙面にて記載、提出予定。

4. そ の 他

- ・児童扶養手当加算額の改正内容について報告
 - ・平成 28 年度児童虐待防止推進月間について報告
 - ・保育展について紹介
 - ・次回会議は今後予定を確認後、後日連絡
-

<主なご意見等の内容>

◆報告事項

①海岸通地区における子育て支援施設整備事業について

- 【委員】再開発ビルの位置はどこになりますか。
- 【事務局】壱番館斜め向かいの公共駐車場の隣あたりになります。
- 【委員】再開発ビルは4階建てになるのですか。
- 【事務局】現時点では2階建ての2階に施設を整備する予定です。
- 【委員】その1階には何が入るのですか。
- 【事務局】1階には商業施設が入る予定です。
- 【委員】駐車場はあるのですか。
- 【事務局】再開発ビルの後ろに立体駐車場を建設予定です。
- 【委員】保育施設の対象児童は0歳～5歳児までになっていますが、児童数の配分はどうなっていますか。
- また園庭はありますか。
- この場所に建設するのは、親にとって便利で良いと思いますが、子どもがのびのび育つ施設かどうかは疑問があります。
- 【事務局】定員は40人と設定していますが、人数の振り分けはこれからになります。
- 園庭については、ビルの屋上を予定しています。
- 【委員】こころんを移設するという理解で良いですか。
- 【事務局】はい、そのとおりです。被災地区のこころんを移転するものになります。
- 【委員】2階は、前回と同じ規模の地震があった際に浸水しない高さなのですか。
- 【事務局】前回、1階部分のみ浸水したので、2階であれば問題ないと考えています。
- 【委員】震災前には、計画で新浜町保育所を閉鎖する予定でしたが、この事業に伴って新浜町保育所を閉鎖することになるのですか。
- 【事務局】保育所の移転集約は、現段階では手法の一部として検討している段階です。
- 【委員】各年の入所予定状況から判断しているのですか。
- 【事務局】子ども・子育て支援事業計画の保育事業のニーズ量と提供量では、計画期間中の平成31年度までは現在と大きく変動がない内容になっていますが、計画の変更が必要な場合には、県と協議を行い、変更ができます。
- 【委員】現段階で、新浜町保育所の扱いについて、大きな議題になっているのですか。
- 【事務局】現段階では、検討内容の1つになっているものです。
- 【委員】現在、近隣に一軒家が複数建てられ、若い世代などの購入が見込まれています。今後、保育や学童のニーズが出てくると思います。

- 【議 長】需要と供給のバランスを見ながらになると思います。
計画では新浜町保育所は廃止予定でしたが、震災後の保育需要が想定より高い水準にあるということで、存続させているということなので、その状況を見ながら決定していくということになるかと思います。
- 【議 長】40人定員は、人数としては中途半端だと思います。
0歳から受け入れると年齢構成が難しいです。需要の関係では、未満児に特化したいですが、以上児になったときに別施設に必ず移行しなくてはいけなくなるので、受入施設の確保が必要となるなどの問題があります。
- 【委 員】駐車場も2階なのですか。
- 【事務局】駐車場は、建設予定のマンションの駐車場も兼ねる予定ですので、複数階の立体駐車場になる予定です。
- 【委 員】この時代に再開発ビルが2階ではもったいないと思います。
担当部署では構想の段階でもっと高く建設することを検討しなかったのですか。
- 【事務局】再開発ビルの階層についての主体は、再開発組合となっております。
当初では複数階層の想定だったようですが、現状では2階と聞いております。
- 【委 員】子育て施設に関しては2階に整備するというものでいいですか。
- 【事務局】はい、そのとおりです。
- 【委 員】いつ、どのようにして決定されるのですか。
- 【事務局】再開発事業については、民間の再開発組合が主導で進めているところで、マンション建設に伴い、若い世代を呼び込みたいとのことで、再開発ビルに子育て支援施設を整備し、協力する構想で進めています。
時期については、地権者の同意に基づき進めておりますので、その進捗状況によって変わってきます。
- 【委 員】実際は、待機児童がいる状況で40人施設への移転では、さらに待機児童が増えることになると思いますので、検討していただきたい。
- 【議 長】マンション建設に協力するのであれば、新たな利用者分と既存のニーズを合わせて数での検討をしていただきたい。
- 【議 長】再開発の土地は市の土地になるのですか。
- 【事務局】駐車場を除く土地は民間の土地になります。
- 【議 長】平成31年4月からの開園予定では、時間はそれほどないようですので早めの検討をお願いします。

②塩竈市藤倉児童館及び放課後児童クラブの指定管理について

- 【委 員】保護者への説明会が13日にあったと聞いていますが、どのような規模で、どのような説明があったのか教えてください。
- 【事務局】現在の入級児童の保護者を対象に実施し、21世帯22名の参加がありました。
説明内容は、指定管理制度とはどういうものなのか、また、運営形態やその考え方、基本方針、開館時間、利用料金などについて説明しました。
保護者からは、保護者会費がどうなるのか、実費徴収はどのようなものが対象か、プレゼンテーションの公開の有無などの質問がありました。

- 【委員】事業者説明会への申込状況はどうなっていますか。
- 【事務局】現時点では4事業者から申し込みがありました。
申込期限は明日の17時までなので、更に申込数が増えるかもしれません。
- 【委員】保護者への説明会ですが、急な案内で、かつ参加人数も少なかったことから、これで説明はしましたでは困ります。
- 【事務局】欠席者には、説明会時の資料とその報告をさせていただく予定にしています。
- 【委員】近隣市町村の指定管理の実績はどうなっていますか。
- 【事務局】多賀城市では、平成28年度から児童館及び放課後児童クラブを指定管理しています。利府町では、児童館を指定管理、放課後児童クラブを事業委託しています。仙台市は指定管理となっています。松島町、七ヶ浜町は直営です。
- 【委員】指定管理制度と事業委託の違いは何ですか。
- 【事務局】指定管理は、公の施設を包括的に管理運営するもので、ある程度の裁量権を指定管理者に与えていますが、事業委託は事業の運営のみを委託するため、委託した業務しか実施しないことになります。
- 【委員】3年後にまた募集をかけるのですか。
- 【事務局】はい、3年後にもう一度プロポーザル方式で事業者を募集することになります。また、今回請け負った事業者については、実績の評価も行います。
- 【委員】働いている非常勤職員は、決定事業者の社員として働くことになるのですか。
- 【事務局】雇用は、民間事業者が雇用しますので、子どもらに与える影響を考慮しますと、事業者には引き続き雇用していただくようお願いをする形になります。
- 【議長】3年後に公募するにあたり、実績を踏まえた評価基準を定めていく必要があるのではないかと思います。
- 【委員】職員の不足やその他の事情で運営ができない場合は、どうするのですか。
- 【事務局】仮にそのようなケースがあった場合には、1つは新たな指定管理者を選定し、引き継ぎを実施する方法があります。また、それができない場合は、市が直営で実施する場合もありえます。ただし、そのような状況にならないよう、常日頃、事業者との情報交換を行い、現状把握に努めていきます。
- 【議長】選定の段階で事業者の経営状況を確認していくことも大事になります。
- 【委員】放課後児童クラブの職員配置の基準ですが、各校にクラブリーダーを配置するとありますが、クラブ毎に2名を配置する基準とは別に配置されるものですか。
- 【事務局】別ではなく、含まれることになります。
- 【委員】現在、各校にクラブリーダーを配置しているのですか。
- 【事務局】現在は、非常勤職員のみで運営しています。
- 【委員】現在も1クラブ2名で運営しているのですか。
- 【事務局】2名の他に、支援が必要な児童がいる場合には加配している状況です。
- 【議長】選定のときには、事業者が職員の配置をどのように考えているのか確認することができるので、比較するうえで現在の職員配置状況が必要です。
- 【委員】仲よしクラブの現状を確認して、必要な人材や内容を把握しなければ、

指定管理を行っても変わらないのではないかと思います。

支援が必要な児童への対応などについては特にそう感じます。

【事務局】 仲よしクラブの現状については、児童館を通じて報告を受けております。

今回の指定管理では、基本方針として支援が必要な児童への対応を中心に、専門的な職員を育てる研修を重要と位置付けています。

【委員】 支援が必要な児童で一旦入級を許可した後に取り消した事例はあるのですか。

【事務局】 支援が必要な児童で入級後に退級させたケースはありません。

問題が発生した場合は、ケース会議を開いたり、学校側と情報を交換したり、保護者から状況を確認するなど、児童にあった改善策を検討しています。

【委員】 今年度から各校の校長が放課後児童クラブのアドバイザーとなっております。

また、学校と児童館で年2回の会議を開いて連携を図っています。

【委員】 就学前から放課後等デイサービスを紹介するなど、子どもにとって良いと

思われる取組を行っていますが、親御さんの理解を得るのは難しい状況です。

【議長】 指定管理を実施する事業者との関わりについては、選定時と選定後の関わり、2つの点で整理する必要があります。

◆協議事項

①地方創生推進交付金について

【議長】 既に申請しているということですか。

【事務局】 既に国に申請しており、現在、審査の結果を待っている段階です。

【委員】 センターの役割は、企画、連絡・調整とありますが、

実際に事業を実施するのは他の事業者ということによいのですか。

【事務局】 はい、そのとおりです。事業を実施する団体は様々考えられるので、

行政と協働して調整を進めていきたいと考えています。

【委員】 開設数は小学校区毎にカウントするのですか。

【事務局】 予定では全部で12事業の開設を想定しています。

事業の開設にあたり1団体あたり100万円の助成金を考えていますが、どのようになるか未定なので開設数の変更はありえます。

また、学区についても、現在はすべての学区に整備するのではなく、現段階では、いろんなケースがあると想定しています。

【議長】 予算が付くか、付かないか、また付いた場合に申請額か、減額された額か、それによって計画が違ってくるとのことですか。

【事務局】 計画が認められれば全額、そうでない場合はゼロとなる見込みです。

【委員】 3か年過ぎた後は、国からの補助金はなくなると思いますが、

どんな良い事業を実施しても継続していくのに補助金がなければ、継続は厳しいのではないですか。市の予算を使うことになるのですか。

【事務局】 申請している事業費は、事業開設助成金とセンター運営費となりますので、各事業については、利用料金を取ることも視野に含めて、それぞれ自立性を持って運営していただくこととなります。

3か年後のセンターの事業運営費は、子育て支援センターに機能を集約して

実施していければと考えています。

【委員】 KPI の女性一人あたりの年収は、働いていない女性も含まれるのですか。

【事務局】 塩竈市に住んでいる全女性の一人当たりの年収になりますので、
仕事をしていない方もこの中には含まれます。

【委員】 国の方からこの指標を求められているのですか。

【事務局】 重要業績評価指標という事業の効果を図る指標を設定することになっています。
さらに、3つ指標を記載していますが、そのうち1つ以上は、実績数値ではなく、
事業を実施することで生み出される効果を指標とすることになっています。

【委員】 イメージ図の内容では、学校以外の場所や学区を超えた遠い場所で
実施されることも想定しているようですが、そのイメージはしづらいです。

【事務局】 事業内容が現段階で未定ですので、各学区に設置するのか、
それとも市街中心部に設置するかも決めていません。
そのため、イメージ自体の説明も難しい状況ですが、事業場所については、
事業の企画段階で子どもにとって適切な環境を整備できる箇所に設置したいと
思っています。

【議長】 女性の収入が増えていく原理がよくわからないのですが。

【事務局】 現在、子どもの放課後の選択肢としては、放課後児童クラブ、塾や習い事など
ありますが、他に魅力的な事業があれば、放課後児童クラブ以外で児童の放課
後の居場所ができ、働きたいと考えている女性が安心して働ける環境ができ
ると考えています。

【議長】 放課後児童クラブを利用している人が、新たな事業に乗り換えるのなら
理解できますが、就労する人が増えるのが分らないです。

【事務局】 新のびのび塩竈っ子プラン策定時のアンケート結果にて、保護者の潜在的な
就労ニーズがあることを確認しています。また、水産加工業にて今後、
新たな事業展開が図られ、大きな雇用数が必要となる予定ですので、
その点等も踏まえ就業する方を増やせればと考えています。

【委員】 エスプの例もあり、学区が特定され、行きたくても行きづらい状況が
できないよう配慮が必要だと思います。3年間の補助の期間が過ぎた後
を考えるとどうなのかという思いがあります。

【議長】 放課後を充実させるというのであれば、今回指定管理を行うこともあるので、
放課後児童クラブを中心に地域の中で活かせるような使い方のほうが、
子どもが遠くに行くことなく、近くで活動の幅が広がって、無理がないと
思われるので、企画段階等で検討して頂ければと思います。